

1 前回（8/1）審議会における主な意見

◆有料化はごみの減量につながるのか

- ・有料化して一旦減量化できても2、3年したら戻るのではないか。
- ・県内他市等で、有料化しているところが有料化前後でどのようにごみの排出量に変化があったのか、データがあれば示してほしい。

◆他市と比較しても、家庭系ごみは排出量が少ない。これ以上の減量は可能か

- ・市民の意識が高くても、事業者側の過剰包装などの体制が改善しなければ、これ以上減量を進めることは困難ではないか。
- ・重量を減らすなら水分を減量することが必要（水切り、コンポスト等の取組が必要）

◆併せて市民の意識変革を促していく必要

- ・有料化だけでなく、市民の意識改革を合わせて進めていかなければ減量化につながらない。有料化をすれば、市民の意識は高まる。そのタイミングに合わせて意識改革や新たな制度の導入をしていくことが有効である。

◆有料化と合わせての取組が必要

- ・有料化には賛成だが、コンビニやスーパー、その他の場所での不法投棄が増えることが懸念されるので、対策を講じる必要がある。
- ・有料化して、その後の変化を確認しながら見直しを適切に行っていく必要がある。
- ・有料化に先立ち、現在の宇部市のごみの現状を市民に理解してもらう必要（小学生にもわかるようなわかりやすいデータや図などを用いて事前の周知が必要。）

2 前回の質問に対する回答

- ① ごみ処理経費は税金で賄われているのに、更に手数料を徴収することに対して市民が納得できる説明が必要

- ・単純に市の財政負担を軽減させることだけを目的としたものではない。
- ・ごみ処理は市の責務ではありますが、一方で排出者の責務として市民の皆様から、排出量に応じた負担をお願いすることは、公平性の観点からも妥当であるとともに、ごみの減量やリサイクルを推進する動機付けとなるものとする。
- ・有料化にあったっては、その目的を明確にした上で、手数料の用途につ

いてもごみの発生抑制やリサイクルの推進などの施策に充てることで市民の理解を得たい。

②有料化により本当にごみが減るのか、他市（特に県内ですでに有料化を実施している市）での状況はどうか

・『別紙1』を参照

② これまでの減量化の取組はどうか

・『別紙2』を参照